

A……20  
ヒマラヤスギ



祇園町南側  
(八坂鳥居前東入)  
高さ 12.0m  
幹周 1.50m  
まつ科 / 常緑高木

長楽館は「明治の煙草王」と呼ばれた村井吉兵衛の別荘として明治42年に竣工した建物です。ヒマラヤスギは、入口正面にあり、洋風の建物とよく調和しています。

A……21  
ヒロハノナンヨウスギ



祇園町南側(八坂鳥居前東入)  
高さ 11.3m 幹周 1.54m  
なんようすぎ科 / 常緑高木

ヒロハノナンヨウスギは、オーストラリアの暖地海岸付近に自生するもので、適地では高さが50m以上にも達します。日本には明治末期に渡来したとされています。

## イチョウ

いちょう科

中国原産の落葉樹。秋の黄葉が美しく、日本では古くから社寺の境内などに植えられ、親しまれてきました。生育は旺盛で、病害虫も少なく、暑さや乾燥などにもよく耐え、寿命も長いので、街路樹として多く使われています。

樹形が円錐形に整い、町並みに統一美をもたらすので、ピスタ(見通しの景観)を強調する道路に使われています。



## クスノキ

くすのき科

日本産で、暖地性の常緑樹。常緑樹のなかでは長寿で、もっとも大きくなります。社寺境内などに植えられ、大きく育った木を、まちのあちこちで見かけます。

よい香りのするクスノキは、病害虫におかされにくく、暑さにも強く、枝張が大きいので緑陰樹として適しています。大きく育った木でも移植できるので、最近では、ビルの周囲などにもたくさん使われています。

街路樹としては、中央分離帯や街路広場など、広い空間のもとで使われています。

## エノキ

にれ科

にれ科の樹木は、大木になる落葉樹です。京都近郊の野山にも生えますが、社寺の境内や古い集落の周りなどに植えられています。

エノキの枝は太く、よく拡がって力強い樹形をしています。樹皮はなめらかで灰色。秋には、燈色の丸い実をつけ、黄葉します。

